

生物多様性ながれやま戦略 今後の審議方針

○ 重点地区・拠点クラス分けの指標について

これまでの審議会で、重点地区・拠点のクラス分けにおける指標として、「多様性」、「担保性」、「制約性」の3つを基準に考えてきた。「多様性」については、市民会議を経て、評価するための根拠資料を作成し、ご審議いただいているところである。

今後、「担保性」と「制約性」については、評価内容が重複する部分があるという点や、内容を区別する上で曖昧になってしまう部分があるという点から、2つの指標を一本化し、「担保・制約性」という1つの指標で評価していきたい。

また、現状の評価指標だけでは、市民からの視点が含まれていない、市民が興味を持ちづらいのではないかという観点から、各重点地区・拠点に対する市民の関心という視点を取り入れてはどうか。

これは、市民の方々が強く関心を持っている、魅力を感じているといった視点を取り入れ、市民からの関心が高い重点地区・拠点の保全に関する取組みを実施することにより、「生物多様性」の意識醸成も期待できる。

「市民からの関心」について、こういったフローで根拠づくりから評価の反映を行うべきか。